



江別ユネスコ協会事務局だより 2023年4月24日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074 江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:山崎☎381-1069)

「伝統的酒造り」を ユネスコ無形文化遺産に再提案！

「伝統的酒造り」は 2022 年 3 月に日本政府からユネスコ事務局への提案を決めましたが、現在日本からの提案物件の審査は 2 年に 1 件となっているという理由で、提案見送りとなりました。

本年 3 月 8 日に国の文化審議会の無形文化遺産部会で、あらためて「伝統的酒造り」を提案候補として選定したので、政府は 3 月 14 日の「無形文化遺産条約関係省庁連絡会議」において、ユネスコ事務局へ再提案することに決め、3 月末に提案書が提出されました。2024 年 10 月頃の評価機関からの勧告に基づき、同年 11 月頃の政府間委員会において審議され、登録されることが期待されます。

「伝統的酒造り」は、「日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会」という長い名前の団体が、国の登録無形文化財に登録されるため保持団体となって運動し、2021 年 10 月に文化審議会が文部科学大臣に答申して同年 12 月 2 日に登録された無形文化財です。

伝統的なこうじ菌を用いて、近代科学が成立する前の時代から、杜氏（とうじ）や蔵人（くらびと）らが経験の蓄積によって探り出し、手工業のわざとして築き上げてきた酒造りの技術は、日本の各地に多様な姿で受け継がれています。こうじ菌を用いて日本酒・焼酎・泡盛などを造る日本独特な技術は、すでに欧米からも定評があり、今回の無形文化遺産への登録提案は、妥当なものと思われます。

北海道ユネスコ連絡協議会の定期総会は 5 月 13 日開催です

北海道ユネスコ連協の 2023 年度定期総会は、5 月 13 日（土）14：45～16：15 に札幌市「かでの 2・7」940 会議室において開催されます。定期総会は理事総会の形で行われ、各地ユ協の会員・事務局員も協議会事務局に事前登録すれば、座席数の許す範囲でオブザーバー出席が認められます。

定期総会の終了後、「ホテルポールスター札幌」において「交流会」が開催されます。（会費 6,000 円、17：00～18：30 予定）交流会にも事前登録すれば、希望者は参加できます。希望者は早めに協議会事務局（電話 011-251-6670）にご相談ください。

なお、当日 13 時より定期総会と同じ会場で「2023 年度北海道ブロック事務局長会議」が開催され、道内ユネスコ協会から事務局長が出席して、日ユ連盟の情報等を共有し対応について協議します。

日本ユネスコ協会連盟の機関紙「ユネスコ」をお読みください

日本ユネスコ協会連盟は機関紙「ユネスコ」4 月号を発行しました。この機関紙は年 4 回発行されており、同連盟のホームページから閲覧できます。日ユ連盟の事業や各地ユネスコ協会の活動等が、詳しく記載されていますので、会員の皆様はぜひお読みください。4 月号には、当協会の押谷会長が日本ユネスコ協会連盟の評議員に就任した記事が載っています。なお、同連盟の定時総会は例年 6 月中～下旬に開催されていますが、本年度定時総会の開催通知は未着です。

本年度の「第 79 回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田」は、山梨県富士吉田市の「富士山ホール及び富士急ハイランドリゾート」を会場に、9 月 9 日（土）に開催されますが、開催要項等は未着です。

カレンダーを送ったインドの大学から 礼状が届きました

当協会は国際理解を進める目的で、日本の伝統文化・自然景観・市民生活等を表現した絵・写真入りのカレンダーを海外へ発送する活動を続けていますが、本年の発送先であるインドの「サムヒギンボトン農工大学・継続教育学部」の三浦照男学部長から、4 月 22 日に礼状が届きました。この活動は社会情勢の変化の中で年々縮小していますが、できる範囲で継続する方針です。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。今回の礼状については、適当な方法で皆様に披露する予定です。

